

サウジアラビア経済概況 (23年2月の経済概況)

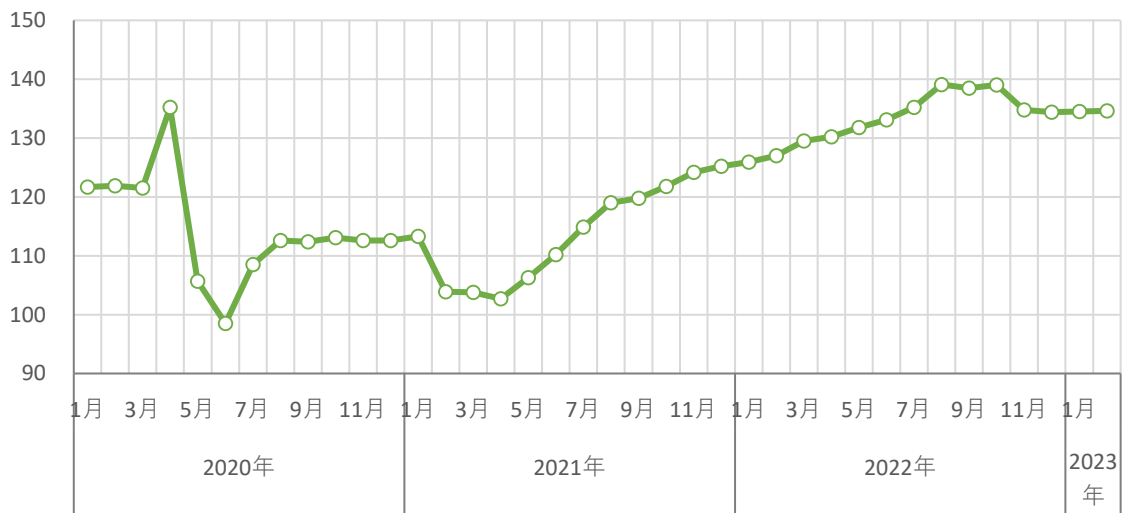
一般財団法人 中東協力センター

1. 月次経済概況 (2023年4月10日更新)

(1) 生産動向

サウジアラビア総合統計庁は2023年4月10日付で2023年2月の鉱工業生産指数 (IPI: Industrial Production Index) 月次統計を公表した。総合指数は前年同月比で+6.0%の増加となった。74.5%のウェイトを占める鉱業・採石業が前年同月比+2.2% (前月同+3.0%) とさらに減速し、IPI増加率の鈍化が明確に確認できる。なお、1月の原油生産量は、OPECの報告では1日当たり1,046万バレルで、前月比+1.4万バレルの増加であった¹。【図1、表1】

【図1】 鉱工業生産指数 (IPI) 総合指数の推移 (2010年=100)



出典：サウジアラビア総合統計庁

【表1】 鉱工業生産指数 (IPI) の構成とウェイト (2010年=100)

	IPI 指数	前年同月比 (%)	ウェイト (%)
総合指数	134.6	+6.0%	100.0
鉱業・採石業	128.5	+2.2%	74.5
製造業	159.1	+16.8%	22.6
電力・ガス	100.8	+12.9%	2.9

出典：サウジアラビア総合統計庁

¹ OPEC “Monthly Oil Market Report January 2023”, Table5-8 <https://momr.opec.org/pdf-download/>

(2) 物価動向と消費関連指標

- 1 2月の消費者物価指数（CPI）の総合指数は、前年同月比+3.0%の増加（前月は同+3.4%）であった。2020年7月の付加価値税（VAT）引上げ（5%から15%に）の一年後（21年7月）には同+0.43%であったが、徐々に騰勢を強め、22年8月以降は同+3%前後で推移している。

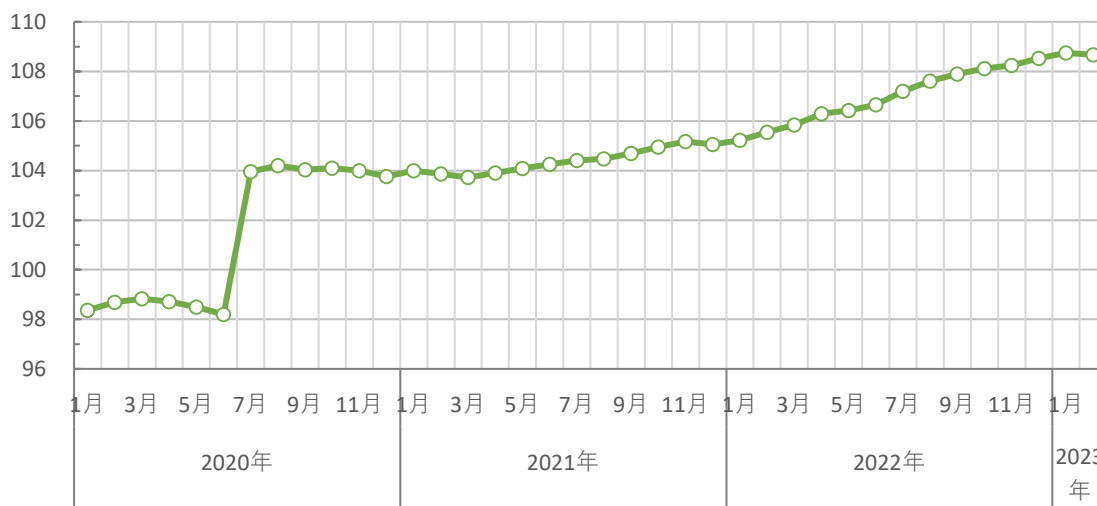
大分類では、CPI中のウェイト上位項目である住居・水道光熱費（前年同月比+7.1%；ウェイト25.50）、食料品・飲料品（同+3.1%；ウェイト18.78）、交通（同+2.7%；ウェイト13.05）が大きく上昇している。細目を見ると、住居・水道光熱費では、分類の大半を占める実質家賃が+8.3%（前月同+7.7%）と増加している。都市別の数値を見ると、先月に引き続いてジェッダ（+23.7%）とリヤド（+12.0%）での上昇率が大きい。食料品・飲料品では肉類（+4.1%）、ミルク・乳製品・卵等（+14.1%）、食用油・油脂（+9.8%）など一部の品目が大きく上昇している。鶏肉類（生鮮品、国産冷凍品、輸入冷凍品とも）は先月に引き続き12.3%~30.4%と上昇率が高い。国産鶏卵（+27.9%）の上昇も含めて、世界的な高病原性鳥インフルエンザの流行が影響していると考えられる。【図1】

- 2 2月の卸売物価指数（WPI）の総合指数は前年同月比+2.7%（前月は同+3.6%）であった。分野別に見ると、農林水産品が+4.6%（前月同+5.7%）、食品・飲料・タバコ・繊維が+6.3%（前月同+7.6%）と、他項目と比べて高い上昇率を示した。細目では、穀物（8.4%前月同+7.8%）、果物（7.2%前月同+10.3%）、卵（+22.2%前月同+29.4%）、肉類（+12.0%同+15.5%）、油脂（+12.9%同+17.7%）、乳製品（+19.5%同+20.0%）等、CPIと同様に食品の上昇率が大きい。一方、金属製品・機械設備は+0.4%（前月同+0.9%）の上昇にとどまり、2021年4月から約1年間10%~20%の上昇率を記録していた石油精製品は+3.8%（前月同+3.8%）で、先月同様に5%以下にとどまった。【図2】
- 3 1月の消費動向を、公表されている最新数値であるPOS決済データ（金額ベース²）の数値で見るとは約448億リヤル（前年同月比+15.2%）となった。【図3】分野別に見ると、飲料・食料（68.6億リヤル）は前年同月比で+14.2%、レストラン&カフェ（66.7億リヤル）は同+15.2%の増加となった。CPIやWPIと同様、食料品に関する支出項目が大きく増加している。その他では運輸（24.5億リヤル）が+18.9%、ホテル（11.9億リヤル）は+46.2%の上昇となった。

² 報告書ではサウジアラビア中央銀行（SAMA）が公表する統計を引用しており、通貨に関しても、サウジアラビア通貨（サウジリヤル：SAR）をそのまま引用している。なお、サウジアラビア政府は自国通貨をドルに連動（ペッグ）させる為替相場管理制度を採用しており、公式為替レートは1USD=3.75SARとなっている。

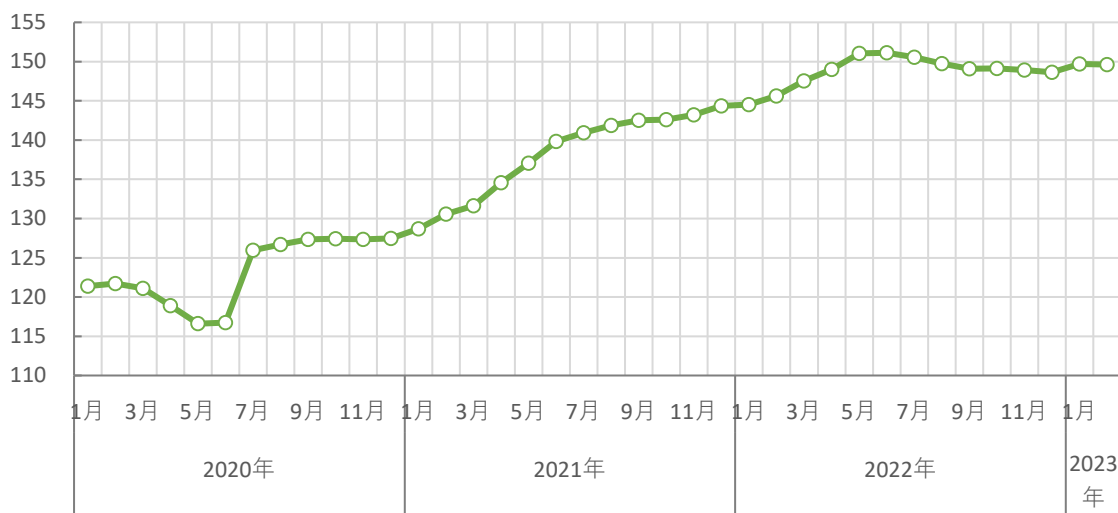
なお、サウジアラビア中央銀行（SAMA）は（Mada Card³を使用した）Eコマースの売上高も公表しており、それによれば1月のEコマース売上高は約113.2億リヤルと前年同月比+41.1%増加した。店頭販売を集計したPOS売上高と比較した比率は25.3%相当（前年同月は24.2%相当）であった。

【図1】消費者物価指数（CPI）推移（2018年=100）



出典：サウジアラビア総合統計庁

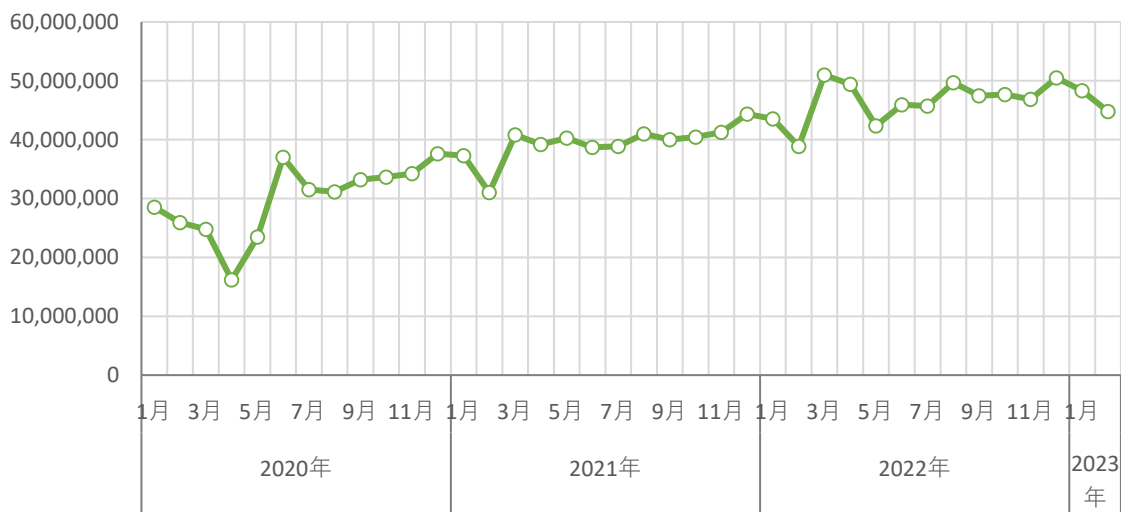
【図2】卸売物価指数（WPI）推移（2014年=100）



出典：サウジアラビア総合統計庁

³ Mada Card は 2018 年 4 月 1 日から解禁された電子商取引時のオンライン決済手段の一つであり、サウジアラビア中央銀行が管轄している。決済方法は、デビットカードとプリペイドカードに対応しており、海外で使用する際は、Visa や Mastercard といったブランドで決済することが可能。Mada の利用により従来の POS 端末での支払いに加え消費者の利便性が高まっている。

【図3】 POS (Point of Sales) 月次売上データ (金額ベース) 推移 (単位: 1,000SAR)



出典: サウジアラビア中央銀行

(3) 金融関連指標の動き

① 政策金利

サウジアラビアはドル・ペッグ制を採用しており、金融政策は米国の動向に追随する。2018年までは米国が量的緩和からの正常化を模索しており、サウジアラビアも政策金利を上げざるを得ない環境にあった。しかし、2019年に入ってからアメリカ合衆国連邦準備銀行 (FRB) の方向転換と、2020年来の新型コロナウイルス感染症蔓延下での「超」金融緩和によって、サウジアラビアも緩和的な金融環境となり、銀行間取引金利⁴ (表1参照) は2021年末まで0.8%台の低位の水準が続いてきた。

しかし、米国でインフレが昂進し米国内金利が騰勢を強めていたところ、FRBは量的緩和を3月に終了し、政策金利 (フェデラルファンド金利の誘導目標の上限) の誘導目標も0.25%pt引き上げるという政策転換を行った。以降、FRBは5月の米連邦公開市場委員会 (FOMC) にて0.50%pt、6月・7月・9月・11月には4会合連続で0.75%ptずつ政策金利を引き上げた。その後、米CPIの減速に伴い、12月には上げ幅を0.50%pt、1月には0.25%ptと縮小した。3月21日~22日に開かれたFOMCでは、シリコンバレーバンク破綻を契機とした米中小地銀やクレディスイスの経営危機を受けて利上げを停止するとの観測もあったが、FRBは高インフレの抑制を優先し、0.25%ptの利上げ継続を発表した。その結果、米政策金利は4.75~5.0%となった。こ

⁴ 「銀行間取引金利 (Interbank Offered Rates)」は、各国の金融市場において銀行同士が日々、短期資金 (1週間~12か月) を融通し合うコール市場の基準金利で、ローン・債券・デリバティブなど多くの金融商品の参照金利や、中央銀行の金利政策における公開市場操作の指標ともなる。旧LIBOR (ロンドン)、FF金利 (米国)、TIBOR (東京)、EURIBOR (欧州) が代表的で、サウジアラビアではSAIBOR (セイボー) となる。

の間、サウジアラビアの銀行間金利（SAIBOR）も上昇を続け、2023年2月のSAIBORは5.5283%と、4か月続けて5%を超える水準となった。【表1】

なお、FOMCで公表された経済見通しにおいて、FOMC参加者が見込む23年末の米政策金利の中央値は5.1%となった。これはあと1回0.25%ptの利上げを行えば到達する水準であり、継続的な利上げの停止が近づいていることを示している。しかし、米国内のインフレ圧力は依然として強く、利下げに転じるには時期尚早と見られている。そのため、米政策金利にあわせてSAIBORも高止まりすると考えられる。

② 外貨準備高

サウジアラビアの外貨準備高は、2020年3、4月にかけて相当減少しているが、これは主として、公共投資基金（Public Investment Fund）による今後の投資計画のため、総額1,500億サウジリヤルを準備資産からPIFに移し替えるという決定を反映したものである。以降は増減を繰り返しつつ、1兆6,000億リヤル前後の水準で推移している。【表2】

Al-Jadaan財務相は、2022年5月24日のロイターの取材に対し、「サウジアラビアは、持続可能な財政を維持するために外貨準備高がGDPの一定割合を下回らないように維持することを財政の指針としている」「将来的には付加価値税（VAT）を15%から引き下げることにも考慮しているが、過去5年間で1兆リヤルを外貨準備から公共投資基金（PIF）と国家開発基金（NDF）に投じたため、今はまだ外貨準備を補充している段階だ」と述べた⁵。同年11月7日の日本経済新聞の取材でも、VATの将来的な引き下げはありうるが、当面は過去9年の財政赤字で傷んだ国家財政の立て直しを優先する姿勢を示した⁶。

⁵ Saudi Gazette ”[Al-Jadaan: Saudi Arabia will ‘ultimately’ consider cutting VAT](#)” (2022年5月25日)

⁶ 日本経済新聞 「[サウジ財務相、年内に『財政黒字転換』非石油収入が拡大](#)」 (2022年11月7日)

【表 1】 銀行間取引金利（3M SAIBOR）

（単位：％）

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年
1 月	2.2710	0.8171	0.9366	5.3813
2 月	2.1397	0.8078	1.1987	5.5283
3 月	1.3019	0.7968	1.9585	
4 月	1.2281	0.7970	2.3675	
5 月	1.1293	0.7971	2.6601	
6 月	1.0264	0.7920	3.1162	
7 月	0.9557	0.7931	2.9000	
8 月	0.9106	0.7951	3.0280	
9 月	0.8817	0.8005	3.4945	
10 月	0.8560	0.8167	4.9728	
11 月	0.8378	0.8382	5.5898	
12 月	0.8233	0.8736	5.2821	

出典：サウジアラビア中央銀行

【表2】月次外貨準備高

(単位：100万 SAR)

2020年	8月	1,655,526
	9月	1,633,987
	10月	1,630,192
	11月	1,668,401
	12月	1,654,419
	2021年	1月
	2月	1,608,155
	3月	1,637,963
	4月	1,606,616
	5月	1,592,909
	6月	1,624,952
	7月	1,608,365
	8月	1,607,046
	9月	1,648,094
	10月	1,592,719
	11月	1,644,277
	12月	1,610,614
	2022年	1月
	2月	1,558,859
	3月	1,596,682
	4月	1,599,904
	5月	1,599,597
	6月	1,657,136
	7月	1,647,973
	8月	1,624,060
	9月	1,666,702
	10月	1,650,228
	11月	1,677,578
	12月	1,630,800
	2023年	1月
	2月	1,603,570
	3月	1,549,952

出典：サウジアラビア中央銀行 *暫定値

2. 2022年第4四半期(10月~12月)のサウジアラビア経済(2023年3月9日更新)

- ① 第4四半期の名目GDPは前年同期比+13.5%(第3四半期 同+26.0%)であった。2020年に4四半期マイナス成長が続いた後、2021年第2四半期から6四半期連続で20%以上の高成長率であったが、今期の成長は減速した。

また、物価上昇要因を除いた実質ベースでも前年同期比+5.5%(第3四半期 同+8.7%)と、7四半期連続のプラスであったが増加率は鈍化した。
- ② 経済活動分野別に見ると、名目ベースでは原油・天然ガスが前年同期比+75.2%であった。同分野の成長寄与度は+4.5%で分野中最大であるが、第3四半期の+17.3%からは大幅に縮小している。いっぽう、それに次ぐ成長率であった石油精製の成長寄与度は+3.4%で、第3四半期の+2.8%から増加している。【表1】
- ③ 実質ベースで伸びが高かった上位3分野は、輸送・保管・通信(前年同期比+13.1%)、コミュニティー・社会サービス(同+10.5%)、原油・天然ガス以外の鉱業・採石業(同+8.4%)であった。【表1】
- ④ 支出ベースで名目GDP構成要素の動きを見ると、総固定資本形成は前年同期比+26.4%で、うち民間は同+34.6%増加した。政府最終消費支出は同+7.4%の増加で、3四半期連続で民間最終消費支出(同+7.0%)を上回ったが、増加率の差は縮まっている。【表2】
- ⑤ 貿易収支(物品及びサービス)の名目GDPへの寄与度に関しては、新型コロナウイルス感染拡大前の2019年第2四半期からマイナスの寄与度を示し、特に2020年第2四半期は貿易赤字だったため▲14.1%と大幅に悪化した。その後持ち直し、2021年第2四半期にプラス(+16.7%)に転換した後、同年第2四半期以降はプラス二桁の寄与度が続いた。しかし、2022年第4四半期は一転+1.0%と、寄与度が大幅に縮小した。
【表3】
- ⑥ なお、物品に限った(サービスを除く)貿易収支に関しては、2020年第2四半期にいったん赤字となった翌期に黒字転換して以降、黒字幅の拡大が続いていた。2022年第4四半期は149,356百万リヤルの黒字で、4期ぶりに200,000百万リヤルを割り込んだが、引き続き新型コロナ感染拡大前を上回る額の貿易黒字を計上した。【表4】
- ⑦ 国際貿易統計によれば、物品貿易において、サウジアラビアの輸出先および輸入先のトップは共に中国となっている。サウジアラビアからの輸出先上位5カ国に関する輸出額、輸入額(海外拠点が生産国となる場合を除く)及び収支は【表5】の通りである。2022年第4四半期の国別貿易収支は、いずれも黒字縮小の傾向がみられる。

【表1】名目 GDP のセクター別付加価値額と変化率

セクター別	名目 GDP (100 万 SAR)	名目成長率(%) (前年同期比)	実質成長率(%) (前年同期比)
1. 農業・林業・漁業	24,068	15.0	6.2
2. 鉱業・採石業	285,095	16.8	7.3
a) 原油・天然ガス	280,881	16.9	7.2
b) その他	4,215	12.9	8.4
3. 工業	164,035	29.9	1.7
a) 石油精製	71,718	75.2	-4.7
b) その他	92,317	8.2	4.5
4. 電気・ガス・水	9,148	3.1	2.2
5. 建設業	49,564	9.7	4.8
6. 卸売・小売業・レストラン・ホテル	89,565	10.8	5.1
7. 輸送・保管・通信	57,442	15.1	13.1
8. 金融・保険・不動産・サービス業	108,333	9.9	3.9
a) 不動産	54,772	4.1	0.9
b) その他	53,561	16.6	7.2
9. コミュニティー・社会サービス	28,121	11.5	10.5
10. 政府サービス	155,775	3.1	2.9
輸入関税を除く合計	971,148	14.1	5.6
輸入関税	52,585	3.2	3.2
国内総生産 (GDP)	1,023,733	13.5	5.5

出典：サウジアラビア総合統計庁

【表2】支出ベースの名目 GDP（国内総支出）の内訳

(単位：100万 SAR)

支出項目	金額	金額 (前年 Q4)	前年同期比
1 最終消費支出	637,803	595,186	7.2%
a) 政府最終消費支出	259,824	241,823	7.4%
b) 民間最終消費支出	377,979	353,362	7.0%
2 総資本形成	268,761	198,408	35.5%
a) 総固定資本形成	267,784	211,788	26.4%
a-1) うち政府	44,252	45,770	-3.3%
a-2) うち民間	223,532	166,017	34.6%
b) 在庫変動	977	-13,379	—
国内最終需要	906,564	793,594	14.2%
4 純輸出	117,169	108,169	8.3%
a) 財・サービス輸出	378,697	336,430	12.6%
a-1) 財 輸出	342,388	321,868	6.4%
a-2) サービス輸出	36,309	14,562	149.3%
b) 財・サービス輸入	261,528	228,261	14.6%
b-1) 財 輸入	193,032	148,613	29.9%
b-2) サービス輸入	68,496	79,648	-14.0%
国内総生産（支出ベース）	1,023,733	901,763	13.5%

出典：サウジアラビア総合統計庁

【表3】名目 GDP の伸びへの貿易収支（物品&サービス）寄与度⁷

（寄与度を除く単位：100万 SAR）

暦年	四半期別	輸出	輸入	貿易収支	名目 GDP	前年同期比寄与度
2019年	第1四半期	270,641	195,115	75,526	755,657	0.8%
	第2四半期	274,617	209,659	64,958	788,245	-4.9%
	第3四半期	262,079	203,201	58,878	786,409	-8.4%
	第4四半期	264,638	213,053	51,585	814,306	-5.4%
2020年	第1四半期	209,559	179,237	30,322	722,187	-6.0%
	第2四半期	123,666	169,896	-46,230	598,321	-14.1%
	第3四半期	165,663	155,489	10,174	699,583	-6.2%
	第4四半期	186,791	178,567	8,224	733,427	-5.3%
2021年	第1四半期	214,496	188,885	25,611	739,044	-0.7%
	第2四半期	239,513	185,573	53,940	769,954	16.7%
	第3四半期	283,942	196,089	87,853	846,435	11.1%
	第4四半期	336,430	228,261	108,169	901,763	13.6%
2022年	第1四半期	383,884	204,190	179,694	977,464	20.8%
	第2四半期	453,406	259,198	194,208	1,088,078	18.2%
	第3四半期	442,823	239,842	202,981	1,066,284	13.6%
	第4四半期	378,697	261,528	117,169	1,023,733	1.0%

出典：サウジアラビア総合統計庁

⁷ 寄与度の計算は以下の通り。

$$\text{寄与度 (\%)} = \frac{\text{各構成要素データの増減 (今回値 - 前回値)}}{\text{全体データの前回値}} \times 100$$

【表4】 四半期別石油輸出額および物品貿易収支の推移

(単位：100万 SAR)

暦年	四半期	石油輸出額	物品貿易		
			輸出	輸入	貿易収支
2019年	第1四半期	189,848	249,087	132,192	116,895
	第2四半期	195,822	252,617	151,819	100,798
	第3四半期	180,005	235,874	145,452	90,422
	第4四半期	186,154	243,434	144,900	98,535
2020年	第1四半期	143,014	191,673	132,381	59,292
	第2四半期	76,492	119,656	124,849	-5,193
	第3四半期	106,562	160,579	123,033	37,547
	第4四半期	121,531	180,044	137,229	42,815
2021年	第1四半期	147,890	208,032	139,392	68,640
	第2四半期	166,406	232,179	140,424	91,755
	第3四半期	204,204	273,593	144,756	128,837
	第4四半期	239,625	321,868	148,613	173,255
2022年	第1四半期	287,326	365,892	157,551	208,341
	第2四半期	343,655	430,476	172,873	257,603
	第3四半期	321,272	400,261	182,803	217,458
	第4四半期	271,332	342,388	193,032	149,356

出典：サウジアラビア総合統計庁

【表5】 22年第4四半期（10-12月）の物品貿易における主要相手国別収支

(単位：100万 SAR)

相手国名 (輸出額順)	輸出額	輸入額	収支		
			今期	前年同期	増減率
中国	59,068	42,091	16,977	25,146	-32.5%
日本	36,673	7,823	28,850	28,133	2.5%
インド	32,826	9,888	22,938	26,832	-14.5%
韓国	30,930	5,365	25,565	24,071	6.2%
USA	15,997	18,721	-2,723	335	(赤字転換)

出典：サウジアラビア総合統計庁

3. セクター別トピック (2023年4月16日更新)

(1) 石油分野

① 原油価格

米国エネルギー情報局 (EIA) によれば、2023年3月の平均原油価格は WTI が1バレル\$73.28 (2月\$76.83)、ブレントが\$78.43 (同\$82.59) で、前月との比較で WTI・ブレントがそれぞれ\$3.55、\$3.76 下落した⁸。2021年12月以降、WTI・ブレント共に\$70台から\$100台に上昇したものの、2022年3月をピークに100ドル台前半に戻ったが、油価は再び上昇し同年6月平均価格はそれぞれ\$114.84、\$122.71を記録した。その後3カ月連続で下落傾向が継続したが、10月になり一時的にブレントは\$93台まで上昇したものの、11月には2ヶ月前の水準まで戻った。原油価格の下落傾向は継続し12月の価格は大幅に下落したが、1月には価格を戻し2月も同様の価格帯となった。3月は双方価格を下げた。

2023年4月2日、OPEC+参加国は5月から12月までの期間、合計116万b/dの自主的な減産を行うことを発表した。こうした自主減産の発表はこれまでの方針 (OPEC+として200万b/dの減産を年末まで維持する) とは異なるものと市場関係者間で受け止められ WTI は\$81台まで上昇した。また、ロシアの減産方針も継続されていることから石油価格は上昇傾向に向かう可能性がある。この発表を受け、今後の注目点としては米国と産油国との関係悪化の懸念、及び中国を中心とした実質的な経済活動の動向とそれに伴う石油需要の動きとなる。

② 原油輸出量・生産量

Joint Organization Data Initiative (JodiOil) によれば2023年1月のサウジアラビア原油輸出量は12月の輸出量743万7千バレル(b/d)から22万1千バレル増加し、765万8千バレル(b/d)であった。原油輸出 (765万8千バレル(b/d)) と石油製品輸出 (126万6千バレル(b/d)) の合計は892万4千バレル(b/d)となり、前月合計883万7千バレル(b/d)より8万7千バレル(b/d)増となった。なお、原油生産量は1,045万3千バレル(b/d) (前月1,043万5千バレル(b/d)) となった⁹。

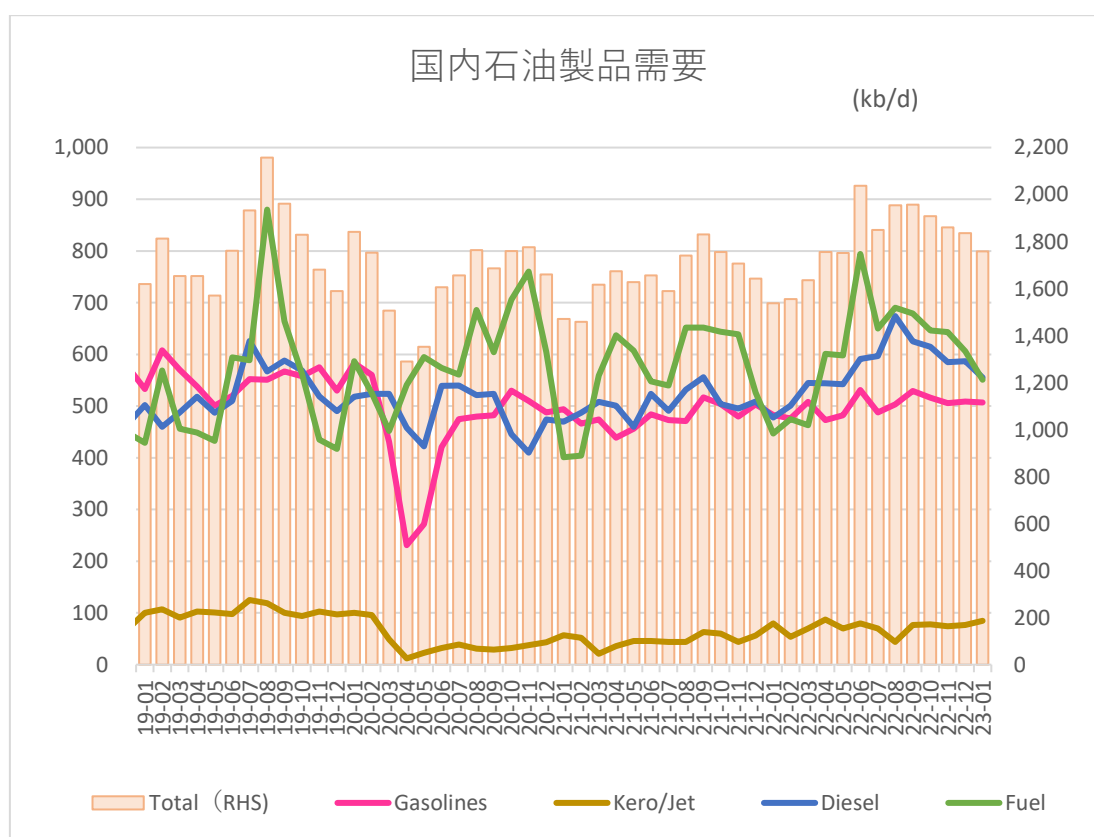
③ 国内石油製品需要 (LPG/Gasolines/Kerosene/Gas-Diesel Oil/Fuel Oil)

2023年1月のサウジアラビアの国内石油製品の需要は175万8千バレル(b/d)となり、前月 (183万6千バレル(b/d)) から7万8千バレル(b/d)減少した。前年同月 (153万7千バレル(b/d)) との比較では22万1千バレル(b/d)の増加となった。LPG需要は6万バレル(b/d)となり前月値5万7千バレル(b/d)より3千バレル(b/d)増加した。ガソリン需要は50万7千バレル(b/d)となり前月値50万9千バレル(b/d)から2千バレル(b/d)減少した。ケロシン需要は8万5千バレル(b/d)となり前月値7万7千バレル

⁸ U.S. Energy Information Administration (EIA) https://www.eia.gov/dnav/pet/pet_pri_spt_s1_m.htm

⁹ JodiOil <https://www.jodidata.org/oil/database/country-by-country-review.aspx>

(b/d) より 8 千バレル(b/d)増加した。ディーゼルの需要は 55 万 5 千バレル(b/d) (前月 58 万 7 千バレル(b/d)) と 3 万 2 千バレル(b/d)減となり、また、燃料用オイル需要に関しては、前月需要の 60 万 6 千バレル(b/d)に対し 1 月は 55 万 1 千バレル(b/d)と 5 万 5 千バレル(b/d)減少した。2021 年以降、限定的となっていた国内石油製品の需要回復は年末に若干の需要回復の兆しが見受けられたものの 2022 年 1 月の需要は全体的に減少した。同年 2 月から 3 月にかけて徐々に増加傾向が見られ、6 月も前月に引き続き需要増加が見られた。7 月には前月比 18 万 7 千バレル(b/d)の減少となったが、8 月の需要は再度上昇した¹⁰。9 月の需要は 8 月と同水準であったが 10 月需要は前月比で約 5 万バレル、11 月需要も同 4 万 7 千バレル(b/d)それぞれ減少した。12 月需要も前月値から 2 万 5 千バレル(b/d)減少した。また、1 月需要も 7 万 8 千バレル(b/d)減少した。



出典：JodiOil、OPEC Monthly Oil Market Report

¹⁰ JodiOil <https://www.jodidata.org/oil/database/country-by-country-review.aspx>

(2) 水分野

① 主要プロジェクトの状況

現在入札関連の情報がある IWP (Independent Water Plant) の状況は表 1 の通り。

【表 1】 現在進行中の新規 IWP の状況

更新日	プロジェクト名	造水量 (m ³ /日)	COD (年)	状況
2023/04/06	Ras Al-Khair 3	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2024 年 4 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Ras Al-Khair 2	600,000		National Center for Privatization & PPP が 2024 年 2 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Shuqaiq 4 IWP	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2025 年 7 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Rayyis 2 IWP	300,000		National Center for Privatization & PPP が 2035 年 6 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Tabuk 1 IWP	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2025 年 3 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/04/06	Rabigh 5 IWP	400,000		National Center for Privatization & PPP が 2027 年 4 月に BOO 契約の入札を行うと発表した。
2023/1/26	Jubail 4 IWP	600,000		入札参加資格申請が 2023 年 2 月 21 日締切にて発行された。2023 年 1 月時点では下記 35 社が関心を示している。1) Abengoa; 2) Acciona; 3) ACWA Power; 4) Ajlan & Bros; 5) Al Kawther Industries; 6) Al Shalawi; 7) Al Sharif Group; 8) Alfancar; 9) Alghanim International; 10) Aljomaih; 11) Awad Saad Binzafrah Contracting; 12) Buhur for Investment; 13) China First Heavy Industries International; 14) Elecnor Group; 15) Engie; 16) Fas Energy; 17) Fisia; 18) GS Inima; 19) Hainan Litree; 20) Kindasa; 21) Lantania;

				22) Marafiq; 23) Marubeni; 24) Metito; 25) Mowah; 26) Nesma; 27) Orascom; 28) Saleh Saeed Taishan and Sons; 29) Saudi Pan Kingdom Company; 30) Shapoorji Pallonji; 31) Taqa; 32) Utico; 33) VA Tech Wabag; 34) Veolia; 35) Vishvaraj Environment. KPMG (財務、情報)、Eversheds Sutherland (法務)、WSP (技術) で構成されるアドバイザーチームがプロジェクトについてクライアントにアドバイスしている。
2022/12/6	Ras Mohaisen	300,000	2026 Q3	RFP (提案依頼書) が発行された。参加承認企業は下記 10 チーム。 1) Acciona; 2) ACWA Power; 3) Aqualia; 4) Cobra; 5) Engie; 6) Malakoff/Kindasa; 7) Marafiq/Alfanar; 8) 丸紅; 9) Rawafid; 10) Utico/Mowah。KPMG (財務、情報)、Eversheds Sutherland (法務)、WSP (技術) で構成されるアドバイザーチームがプロジェクトについてクライアントにアドバイスしている。
2023/2/27	Rabigh 4 IWP	600,000	2025 Q4	1) Acciona/Ajlan & Bros; 2) ACWA Power/Almoayyed/HAACO; 3) Engie の 3 チームが入札し、ACWA Power/HAACO/Almoayyed チームが SAR1.7162/m ³ (\$0.46/m ³) の均等化タリフにより優先入札者に指名された。Acciona/Ajlan & Bros の入札は SAR2.0386/m ³ (\$ 0.54 / m ³) で 2 位。
2022/6/20	Neom IWP	333,000	2025	NEOM の子会社である ENOWA は、Veolia・伊藤忠商事との間で、OXAGON に 50 万 m ³ /d の淡水化プラントを建設するための覚書に署名した。プラントは再生可能エネルギーを動力源とし、排出された塩水か

				らは ZLD（無排水化）処理により鉱物資源を回収する。プロジェクトの完了は 2025 年の予定。三井住友銀行（情報、財務）、Worley Parsons（技術）、Linklaters（法務）らが、クライアントにプロジェクトについてアドバイスしている。
--	--	--	--	---

出典：Global Water Intelligence, SWPC ホームページ

② 水関連ニューストピックス

➤ **SWCC receives Shuaiba water bids**

SWCC(Saudi Arabia's Saline Water Conversion Corporation)は Shuaiba 海淡プラントの第 2 フェーズの EPC 契約への入札を受け付け、地場の Wetico と Alfanar、イタリア Fisia Italmimpianti submitted が応札した模様。

[2023/03/30 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Jeddah starts tunnel project prequalification**

ジェッダ市は市内に大口径雨水トンネルを建設する契約の事前資格を得よう請負業者に呼びかけた。

[2023/03/28 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Team reaches Saudi wastewater financial close**

ジェッダで 2 番目となる下水処理プラントの長期 O&M 契約について Veolia とサウジの土木工事会社の Al-Awael はファイナンスクローズした。

[2023/03/28 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Saudi Arabia allocates \$80 billion to develop key water projects**

サウジアラビア政府はすべての人に安全で手頃な価格の飲料水への普遍的かつ公平なアクセスを達成するため取り組みとして、今後数年間で数百の水プロジェクトをするべく 80 億ドル以上の予算を割り当てたと首相は述べた。

[2023/03/28 smart water magazine](#)

➤ **Saudi Arabia succeeds in overcoming many of water sector's challenges**

サウジアラビアは水部門が直面した多くの課題を克服できていると 2023 年国連水会議で環境水農業省(MEWA)の水問題担当副首相は語った。

[2023/03/25 Saudi Gazette](#)

➤ **Saudi Aramco continues water services outsourcing drive**

サウジアラムコは Almar Water Solutions と Al Jomaih の連合が今月ファイナンシャルクローズしたように、民間企業の水インフラへの投資機会をさらに拡大させている。

[2023/03/23 GWI \(有料会員限定\)](#)

➤ **Neom picks Worley for water engineering work**

オーストラリアのコンサルタント Worley は NEOM に一日あたり最大で2百万 m3 を供給をするための給水インフラを整備するべく Enowa へのアドバイザーサービスを開始した。

[2023/03/22 Meed \(有料会員限定\)](#)

➤ **Acwa Power charts new chapter**

Acwa Power は 2007 年から CEO を務め、昨年副会長も兼務していた Paddy Padmanathan 氏が 3 月 20 日に辞任したが、引き続き同社の取締役会のメンバーを務めることになると認めた。後任は Marco Arcelli 氏。

[2023/03/21 Meed \(有料会員限定\)](#)

➤ **Saudi Aramco and Almar Water Solutions partner to bring water treatment solutions to Saudi Arabia**

Almar Water Solutions は Al Jomaih Energy and Water Co.(JENWA)と共同で、サウジアラムコの 185,000m³/日の容量の水処理プラントを含むプロジェクトを請け負い、Dahran の北方 240 km のアラビア湾に位置する Zuluf 陸上石油施設への注水を支える。

[2023/03/21 smart water magazine](#)

➤ **Saudi Arabia starts Jubail water project prequalification**

それぞれ 300 千 m³/日の造水量が計画されている Jubai 4、Jubail 6 という 2 つの IWP の開発契約について、SWPC が発行した資格請求に 3 月 14 日に各社が応じた。これまでに 16 のサウジ所在の企業を含む、下記の 35 社が関心を示している。

Abengoa Agua (スペイン)

Abu Dhabi National Energy Company (Taqa、アブダビ)

Acciona Agua (スペイン)

Acwa Power (サウジ)

Ajlan & Brothers Holding (サウジ)

Al-Kawther Industries (サウジ)

Al-Shalawi (サウジ)

Al-Sharif Group Holding (サウジ)

Alfanar Company (サウジ)
Alghanim International General Trading and Contracting (クウェート)
Aljomaih Energy and Water Company (サウジ)
Awad Saad Binzafrah Contracting (サウジ)
Buhur for Investment (サウジ)
China First Heavy Industries International Development (中国)
Elecnor Group (スペイン)
Fas Energy (サウジ)
Fisia Italimpianti (イタリア)
GS Inima (スペイン / 韓国)
Hainan Litree Purifying Technology (中国)
Kahrabel FZE (Engie Middle East)
Kindasa Water Services (サウジ)
Lantania Aguas (スペイン)
丸紅
Metito Utilities (UAE)
Mowah Company (サウジ)
Nesma Company (サウジ)
Orascom Construction (エジプト)
Power and Water Utility Company for Jubail and Yanbu (Marafiq、サウジ)
Saleh Saeed Taishan and Sons (サウジ)
Saudi Pan Kingdom Company (Sapac、サウジ)
Shapoorji Pallonji (インド)
Utico (UAE)
VA Tech Wabag (インド)
Veolia Middle East (フランス)
Vishvaraj Environment (インド)

[MEED | Saudi Arabia starts Jubail water project prequalification](#)

2023/03/16 Meed (有料会員限定)

➤ **Finance in place for Saudi wastewater package**

NWC(National Water Company)と Miahona and Thabat Construction は Hadda、Arana の 2 つの下水処理場を含む Mecca City LTOM (長期運用・保守)契約についてファイナンス・クローズした。

[2023/03/13 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Saudi water begins next growth phase**

サウジでは National Water Strategy 2030 において水の需要と供給の格差を埋め、また都市に供給される水の 90%を海淡水によるものにして地下水への依存を低減するために海淡水、水処理、配水部門への投資を引き続き推進していくとしている。

[2023/03/10 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Three companies bid for Rayis- Rabigh IWTP, first Saudi water pipeline PPP**

SWPC(Saudi Water Partnership Company)は Rayis-Rabigh IWTP プロジェクトについて 3つの入札を受けたと発表した。

[2023/03/10 smart water magazine](#)

➤ **SWCC tenders Yanbu reverse osmosis plant**

SWCC は Yanbu にグリーンフィールド逆浸透(RO)ベースの海水淡水化プラントを建設する入札を開始した。このプロジェクトの設計上の供給能力は 500 千 m³/日。

[2023/03/08 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Saudi utility gives Shuaibah 2 bidders more time**

SWCC は Shuaiba 2 (設計容量 545 千 M³/日) 建設契約の入札終了日を当初期限の 3 月 13 日より 2 週間延長した。少なくとも 4つの企業またはチームが入札するとみられる。

[2023/03/02 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **SWPC awards ACWA Power consortium a major Saudi desalination project**

ACWA Power、Haji Abdullah Alireza & Co (HAACO)、Al Moayyed Contracting Group (AMCG) からなるコンソーシアムは SWPC より Rabigh 4 IWP (総容量 600 千 M³/日) の優先入札者として選定された。

[2023/03/02 smart water magazine](#)

③ **ギガプロジェクト関連**

➤ **NEOM Airlines to launch by end-2024; focus on innovation**

NEOM への観光客、居住者、事業関係者の輸送を目的とする NEOM Airlines は 2024 年第 4 四半期の運航開始を発表した。

[2023/03/23 ZAWYA](#)

➤ **PIF manages \$650 billion in assets — Governor**

3 月 30 日にマイアミで開催した Future Investment Initiative 主催の Global PRIORITY Summit で講演した PIF の Yasir Al-Rumayyan 総裁は PIF の保有・運用資

産について、“現在の 6,500 億ドルを 2025 年までに 1 兆ドル、2030 年までに 2~3 兆ドルに増やしたい”と述べた。

[2023/3/31 Saudi Gazette](#)

➤ **PIF-owned Savvy Games to acquire gaming company Scopely for \$4.9bln**

PIF の 100%子会社 Savvy Games Group はアメリカの携帯電話ゲームメーカー Scopely 社を 49 億ドルで買収したと発表した。Savvy は今年 2 月に中国の E-sports 企業 VSPO 株を 265 百万ドルで取得している。

[2023/3/7 ZAWYA](#)

➤ **Crown Prince unveils new national airline based in Riyadh**

3 月 12 日、ムハンマド皇太子は PIF 全額出資の新国営航空会社 Riyadh Air の設立を発表した。取締役会議長には PIF 総裁の Yasir Al-Rumayyan 氏、CEO には航空、輸送、物流分野で 40 年超の経歴を有する Tony Douglas 氏が就任した。

[2023/3/12 Saudi Gazette](#)

➤ **Riyadh Air to be operational within two years: CEO Douglas**

新国営航空会社 Riyadh Air の CEO Douglas 氏は 2 年以内の運航開始、100 ヶ所の就航先などの計画を明らかにした。

[2023/3/14 Saudi Gazette](#)

➤ **Saudi Arabia's Roshn launches Eastern Province project**

PIF 全額出資子会社の不動産デベロッパーRoshn は東部州の Al-Ahsaa 近傍で面積 10.8 km²、戸数 18,000 戸、居住予定者 10 万人の住宅開発プロジェクト“Alfulwa”を開始した。

[2023/3/15 MEED \(有料会員限定\)](#)

➤ **Saudi PIF launches initiatives to boost private sector growth**

PIF は国産化推進強化の“Mushama Programme”、国内事業者の育成と技術力向上のための“Suppliers Development Programme”、国内事業者を対象に投資機会を紹介・提供する“Private Sector Hub”など 3 つの新イニシアチブをリヤドで開催中の Private Sector Forum で発表した。

[2023/3/14 ZAWYA](#)

➤ **Roshn announces second community in Riyadh**

PIF 子会社の不動産デベロッパーRoshn はリヤド東部の Al-Janadriyyah 地区での面積 140 万 m²、総戸数 2000 の住宅コミュニティー“Warefa”建設を発表した。

[2023/3/8 MEED \(有料会員限定\)](#)

3. ビジネス環境トピック (2023年4月19日更新)

新型コロナウイルス感染状況 (2023年4月19日)

行動制限に関する新たな情報はなし。

現在、サウジへの渡航に際し、コロナ検査陰性証明書及びワクチン接種証明書の提出は不要となっている¹¹。

サウジアラビア保健省発表の感染状況は以下の通り。

【表1】サウジアラビア新型コロナウイルス感染者数概要

	人数 (人)	同 前日(4月18日)
新規感染者数	131	132
新規回復者数	302	306
累計感染者数	838,953	838,822
(内、回復者数)	825,563	825,261
(内、死亡者数)	9,639	9,639
検査数	4,094	4,029
累計ワクチン接種数	累計：一回目：27,018,975 二回目：25,414,359 追加接種：16,020,714	

出典：サウジアラビア保健省

主要都市の感染者数は以下の通り。

【表2】サウジアラビア主要都市感染者数 (2023年4月19日)

	リヤド	ジェッダ	ダンマン	メッカ	メディナ
新規感染者数	45	21	6	3	4
累計感染者数	194,845	95,630	40,984	62,825	37,207

出典：サウジアラビア保健省

以上

¹¹ 在サウジアラビア日本大使館ホームページ https://www.ksa.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html